

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

「角層を整える技術」とは、単に角質層を湿らす技術

多くの化粧品会社が謳う「角層を整える技術」は、肌の最外層にある角質層に焦点を当てて、湿らせる技術のことです。この技術は、一般では「角層保湿技術」と呼ばれています。

要は、角質層にたっぷりの水分を与え、油分などで角質表面に油膜を貼り、フタをして水分を閉じ込めることで、水分の蒸散を防ぎ、しっとりとした肌を保つことが目的です。

具体的には、以下のようなアプローチを取っています：

1. 保湿：化粧水で角層の水分を増やし、角質層に水分をたっぷり吸収させた結果、しなやかでツヤ感のある柔らかい肌になります。
2. 保護：内部からの水分蒸散を防ぎ、外部からの異物侵入を防ぐために、角質表面に油膜を貼り、角層を保護・強化します。

多くの化粧品会社が謳う「角層を整える技術」は、皮膚バリアを直接修復・強化する技術とは異なり、角質層に水分をたっぷり与え湿らせ、油膜を貼ることで、間接的に乾燥肌や敏感肌を緩和することを目指しています。

つまり、直接的なバリア機能の回復ではなく、角質層を単に湿らせ、油膜を貼ることで長時間湿らせた状態を維持し、肌の乾燥肌や敏感肌を一時的に解消させようという技術です。

この方法を使えば、なりたい肌「しなやかでツヤ感のある柔らかい肌」に一時的になれるが、美しい素肌、皮膚老化の防止、肌トラブルの解消、そして化粧映えする肌など、カスタマイズされた「なりたい肌」に根本からなるためには、皮膚バリアを修復・強化するケアで、皮膚のバリア機能「水分蒸散・異物侵入を防ぐ」を取り戻し、角質水分保持力の向上を図ることが不可欠です。